Metanium DC
HG
XG

取 扱 説 明 書

SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

安全上・ご使用上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注 意

●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。
●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。

●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。
●リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。
●根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。
●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
●キャスティングの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをするおそれがあります。
●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。
●幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

●回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 仙台営業所
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(048)772-6662
※仙台営業所管轄のお客様のご連絡は埼玉営業所で承ります。

株式会社シマノ 埼玉営業所
〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ 東京営業所
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 名古屋営業所
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77 TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ 中四国営業所
〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 九州営業所
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ釣具事業部
本 社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-861130（ハローイイサオ）
フリーダイヤルをご利用できない方は **072-243-8538（有料）** をご利用ください。
受付時間:AM9:00～12:00·PM1:00～5:00（土・日・祝日除く）

■シマノホームページ アドレスは **http://www.shimano.com** です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Japan (150101) 044

各部の名称

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

仕様一覧

品番	ギア比	最大ドラグカ (N/kg)	自重 (g)	糸巻量	最大巻上長 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ベアリング数 (S A-RB/ローラー)	ハンドル長 (mm)
右	6.2	49.0/5.0	190	ナイロン(lb-m) 12-120, 14-100, 16-85, 20-70	66	34/22	9/1	42
HG右	7.4	49.0/5.0	190		79	34/22	9/1	42
XG右	8.5	49.0/5.0	195		91	34/22	9/1	48
左	6.2	49.0/5.0	190	ナイロン(lb-m) 12-120, 14-100, 16-85, 20-70	66	34/22	9/1	42
HG左	7.4	49.0/5.0	190		79	34/22	9/1	42
XG左	8.5	49.0/5.0	195		91	34/22	9/1	48

●**標準付属品** 取扱説明書・分解図・オイル・専用リール袋・脚裏保護シート・糸止めシール

※製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

I-DC5（インテリジェント - デジタルコントロール５モードブレーキシステム）について

08 メタニウム MgDC に搭載された I-DC4 からさらに進化した DC ブレーキシステム I-DC5 を搭載。
セミオートボリュームのダイアル 1 ～ 4 は、最大ブレーキ力を上げたことで、よりフレキシブルな対応幅の広いブレーキに進化。
フルオートボリュームの AUTO モードも備え、5 つのブレーキ力を選択できる画期的なブレーキシステムです。
さらに I-DC+ の特徴である“ラインを選ぶことにより、ラインの違いによるブレーキのズレを無くす”という機能を加えることで、より最適なブレーキをかけることができ、遠投性能が向上しました。

I-DC5の設定について ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

■内部ダイアル
ナイロン、フロロ、ＰＥとラインの種類を選択することで最適なブレーキ設定が行えます。

■外部ダイアル
図のように 1 から 4 までのボリュームと AUTO の 5 パターンのブレーキモードの選択が可能です。
1 ～ 4 はセミオートボリュームの幅広いブレーキとなっており、ブレーキの弱い方から 1、2、3 と使用状況に合わせてブレーキを設定してください。
AUTO はダイアル 2 ～ 4 程度の幅を持ったフルオートボリュームのブレーキとなっています。
特にブレーキ調整をしなくても、AUTO を選択することで一般的に使用するルアーはキャストできる設定になっています。
よりキャスティングでの飛距離を伸ばしたいという場合は 1 ～ 4 のブレーキをその時の使用ルアーや風などの状況に合わせて設定してください。
※エスケープハッチが完全に閉まっていないとダイアルが回転しない、安全構造になっています。外部ダイアルが回転しない場合はエスケープハッチが閉まっていることをお確かめください。

サービスのご案内

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

●ご使用上の注意
砂・泥・泥水はリールの大敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。
根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。
リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

●お手入れの方法
各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。
また、水に浸して洗ったりしないでください。
特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。
ドラグ部分には、絶対にオイルを付けないでください。オイルが入ると、ドラグ力が低下することがあります。
高温、高湿の状態で長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。
ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。

●弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保障いたしかねます。
●不具合が生じた場合はそのままの状態でお買い上げの販売店へお持ちになり、詳しい症状をお伝えいただき、修理をご依頼くださいますようお願いいたします。
●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損､紛失､釣行費等は保証できません。
●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお薦めします。
例／製品名：ステラ 1000S　商品コード：02425
　　製品コード：SD83B012　部品名：スプール　部品番号：2
●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後６年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後６年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード / 製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上５ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

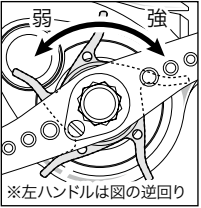
使用方法・リールの準備　※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

■メカニカルブレーキノブ

DC ブレーキを搭載したリールでは、メカニカルブレーキの設定方法が従来のブレーキシステムとは異なります。
通常はスプールが軸方向にガタつかない程度にゆるめてお使いください。メカニカルブレーキを必要以上に締め付けると、DC システムが本来の性能を発揮できません。ただし、想定以上の強風条件などではメカニカルブレーキを締め付ける必要があります。

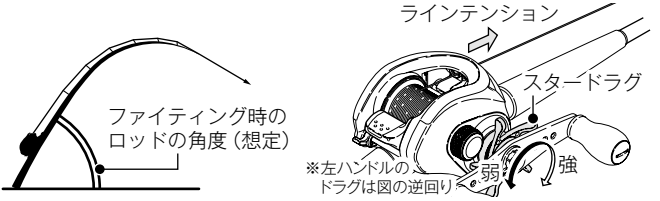
■スタードラグ

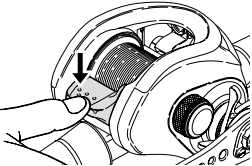
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラグが締まります。

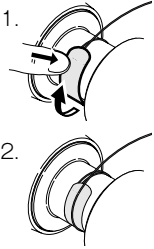
※左ハンドルは図の逆回り

■ドラグの調整方法

ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを"ON"の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。

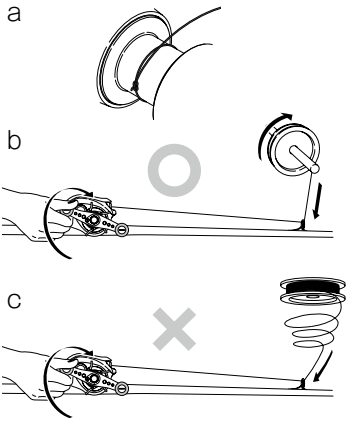
※左ハンドルのドラグは図の逆回り

■クラッチ操作方法

親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。

■スプールへの糸止め方法（糸を巻く時）

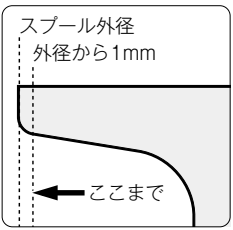
1. スプールにラインを結び、その結び目の上に市販のテープ等をピッタリと確実に貼ります。（指などで強く押してください。）
2. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。（最初は少しゆっくりと巻くようにします。）
3. 特に PE ラインは滑り易く、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちりと巻くことが必要です。

1.
2.
■スプールに糸を巻かれる時の注意点

PE ラインを巻かれる際には、必ず滑り止めになる様な物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻かれますと、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

■糸の巻き方

1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。（図 a）
4. 糸が巻かれているボビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのボビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ボビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。（図 b）図 c のようにならないようご注意ください。

尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを充分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻量

糸巻量はスプール外径から 1mm の位置まで巻くことをおすすめします。

■キャスティング方法

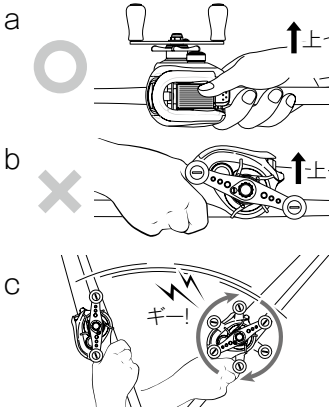
●正しい握り方

ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。（図 a）

<u>下記の握り方でキャストされますと、クラッチ返りが起こりやすくなりますのでお避けください。</u>

ハンドルを横向きにしてしまうと…
（図 b）

キャストの衝撃でハンドルが回転しクラッチが返ってしまいます。
（図 c）

※キャスト時のクラッチ返りは、車でいえばクラッチを切らずにギアをつなぐ様なもの。最悪ギヤの破損の恐れもあります。絶対にお避けください。
※キャスティング中にハンドルでクラッチを返さないでください。ギアの破損につながる恐れがあります。ルアーが着水してからクラッチを返してください。
※標準装備のハンドルより長いハンドルや、重い（大きい）ハンドルノブを取り付けると、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなりますのでご注意ください。

■より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点

●糸巻き量、スプール回転数

ブレーキセッティングはフルライン（スプールの 95% 糸巻き量）の状態を前提に作られています。これより糸巻き量が少ない場合は、スプールの回転数が上がりやすくなるため、ブレーキが強く効きすぎる場合があります。糸巻き時には、スプールのテーパー面のエッジ（左記 ■糸巻量のご注意 図参照）に合わせた糸巻き量でご使用ください。

●糸の太さ、スプール回転数

糸の太さによって、キャスティング時のスプール回転数の下がり方が異なります。同じ糸巻き状態で同じ速度でルアーが飛んでいる場合には糸が太いほうがスプール径が早く痩せ、スプール回転数は多くなります。そのため、太い糸のほうが理論的にはブレーキが強くかかりやすい傾向があります。

●ベアリングの回転状態、汚れ

メタニウム DC のブレーキプログラムは汚れのないスムーズな回転状態のベアリングで設定されています。汚れ、オイル切れ等の回転状態の悪いベアリングを使用した場合はブレーキが効きすぎるように感じる場合がありますのでご注意ください。（多少のベアリング汚れ等であれば、ブレーキを若干緩めることで対処できます。）

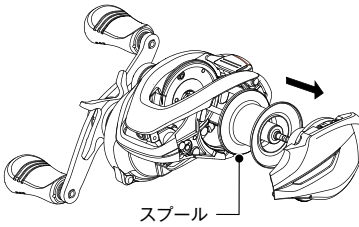
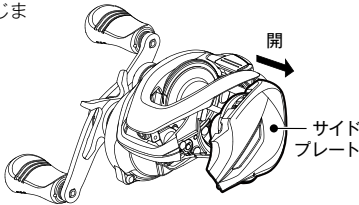
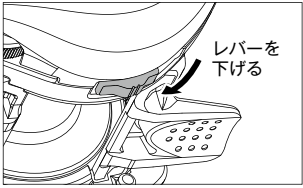
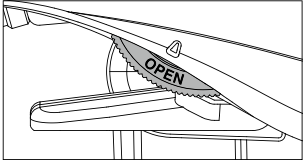
●風向、風力

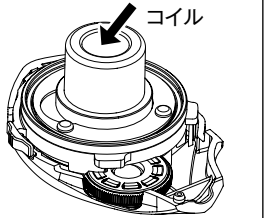
風向と風力によってルアーの飛びは大きく影響を受けます。特に真正面からの向かい風は、ルアー、ラインに大きな影響を与えます。風の強い時に使用される際はオートのポジションをご使用ください。

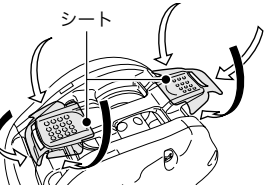
■エスケープハッチの開き方

レバーを押し下げることで、サイドプレートのロックが解除され、開くことができます。釣りに使用される時や、持ち運びの時はレバーが上がっていてロックされている状態にしてください。
※ライトハンドルのイラストで説明しています。

1. ブレーキダイアルをOPENの位置に合わせます。
2. エスケープハッチレバーを下げるとサイドプレートが開きます。
3. 閉じる際は逆の手順でサイドプレートを元の位置に収め、エスケープハッチレバーを上げてエスケープハッチを閉じます。

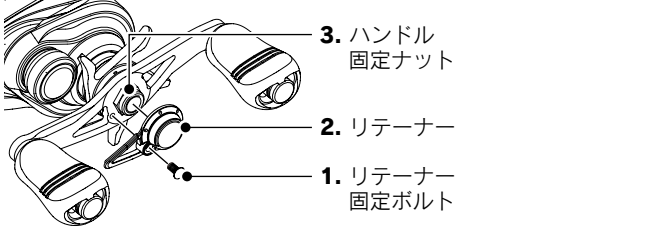
※サイドプレートを外した状態で開口部を下に向けますと、スプールが脱落し、変形する恐れがありますのでご注意願います。
※メカニカルブレーキを締めた状態でサイドプレートを開けると、スプールがサイドプレート側に寄せられているため、構造上サイドプレートが閉じられなくなります。サイドプレートを閉じる際は、必ずメカニカルブレーキノブを緩めてください。
※サイドプレートは、本体から完全に切り離されるため、落下による破損や紛失にご注意願います。

分解時のご注意

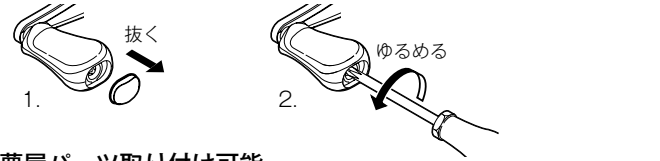
・電子部品は、全て DC ブレーキユニット（本体枠 B 受）の内部に取り付けられています。
・本体枠 B 受に装着されているコイル（右図）に力を加えないようご注意ください。変形するとトラブルの原因になります。

■リール脚保護シートの使用方法

このリールを装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚保護シートを装着していただくことをおすすめします。リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。

■ハンドル着脱時のご注意

ハンドルの着脱をされる場合は次の手順で行ってください。
※ライトハンドルのイラストで説明しています。

1．リテーナー固定ボルトを外す。
2．リテーナーを外す。
3．ハンドル固定ナットを付属のレンチで外す。

※取り付け時は逆の順番で行ってください。

■ハンドルノブの取り外し方〔パドル型〕

1. キャップを取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。

■夢屋パーツ取り付け可能

《夢屋タイプ》

品番	ハンドル	ハンドルノブ
右･左･HG右･HG左･XG右･XG左	BH-1	A

※詳細はシマノホームページにてご確認ください。

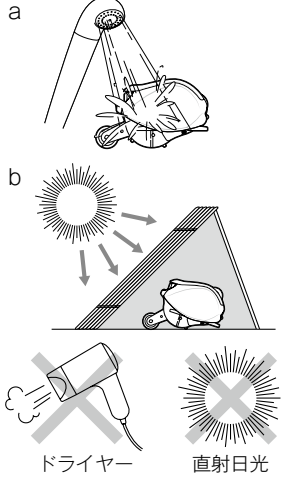
お手入れ方法

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

① 必ず竿から外してください。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

② 水洗いしてください。

ドラグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1 ～ 2 分間水洗いしてください。（図 a）
スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。
※温水はグリスを洗い流す可能性があるのでお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。

③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。（図 b）
※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。
※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は 1 日に 1 度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H（メンテスプレーセット）………………………… ￥1,900
SP-013A（オイルスプレー）………………………………… ￥1,050
SP-023A（グリススプレー）………………………………… ￥1,100
SP-015L（ザルスリールオイルスプレー）…………………… ￥1,500
※最寄りの販売店にてお買い求めください。上記は2014年11月現在の品番及び税抜本体価格です。

《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。
図の注油箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレーをまちがえないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。
※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

●注油箇所

⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。
また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。